

# 『大学の物理教育』 目次

	学生実験が決めた道	藤井 保彦	52
<b>特集</b>	<b>第6回物理教育シンポジウム「アクティブラーニングをどう活かすか」</b>		
	「アクティブラーニングをどう活かすか」趣旨説明	須藤 彰三	54
	日本の授業実践研究に学ぶ	右近 修治	55
	到達目標学習課題方式 — 概念獲得のための授業づくり	石井登志夫	60
	学びを助けるアクティブ・ラーニングとは？		
	— 日米中の物理授業比較から	土佐 幸子	64
	「アクティブラーニングをどう活かすか」実施報告と総合討論	須藤 彰三, 田中 忠芳	68
<b>講義室</b>	科学の深い理解を支援するアクティブ・ラーニング	齋藤 萌木	71
	いつまでクーロンの法則から始めるのか — 大学の電磁気学教育	小宮山 進, 竹川 敦	75
<b>教育実践</b>	マクスウェル方程式から始める電磁気学	小宮山 進	79
	空手で力学 — 誘導発見型ワークショップ物理の導入	藤田あき美	83
	学部生を中心とした大学間合同卒業研究発表会の実践	佐々木 伸, 中村 厚, 澤渡 信之	87
<b>連載</b>	<b>物理オリンピックと物理教育</b>		
	物理チャレンジへの参加をふりかえって	野添 嵩	91
<b>教育に関する一言</b>		佐藤 誠/松浦 執/畠山 温	93
	開催情報		95
	寄贈書リスト		95
	編集後記		96

表紙デザインおよびカット 成島公代

